



和光市議会議員

すが わら みつる  
菅 原 満

議会報告



ご提言はこちらへ

〒351-0111 和光市下新倉3-14-21 Tel&Fax 048-462-8180

## 令和6年12月の定例会から

令和6年度一般会計補正予算など議案23件、陳情1件を審査し、いずれも可決しました。  
なお、議案83号「財産の貸付について」は可否同数（議長裁決）で否決となりました。

### = 市内循環バス事業者支援金(1,600万円) =

#### ◇一般会計補正予算から◇

市内循環バス事業の運転手不足による撤退という課題を受けて検討し、事業者支援というところで行うものです。

運転士募集の広報、タッチ式IC機器の改善などを想定し、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用しており、1事業者300万円、1ルート200万円の補助を行うものです。なお、この交付金は、

他に、学校給食の資材高騰、次世代を担う子ども・若者応援クーポンにも充当してきています。



(財源：交付金8,488千円、市財源7,512千円。)

### = 指定管理者の指定 =

知的障害者と身体障害者の生活介護施設、就労継続支援B型施設の3施設の指定管理者の指定が提案され、いずれも可決されました。

生活介護施設（身体障害者）は、平成29年度から令和6年度まで社会福祉協議会の自主運営でしたが障害福祉サービスの収入減、人件費増により、新たに指定管理料が発生することになりました。

指定管理料の増加や新たに指定管理料の発生、職員の処遇、専門性のある職員の確保、自主事業収入の確保、施設利用者の増への取組、さらには、物価高騰、制度の見直しなどの影響といった課題も見えてきました。

### 昨年9月議会で否決された追認議案の扱い

#### ～1月20日付で市長より議長への報告～

昨年9月議会で、過去に議会の議決を経ないで行った契約について追認を求める議案9件が提出されましたが、議会がいずれも賛成少数で否決でした。（会派では、無効状態の是正が必要と考え賛成。）

埼玉県などへの問い合わせた回答によれば、「議会が追認を否決すれば、議決を要する行為の無効が確定し、以後これを有効とすることはできない。財産の取得も無効が確定し、再度の追認議案の提出も認められない。」という趣旨のものでした。

市としては、市議会の意見及び法的な見解を踏まえ、今後の対応を決定し、議会に報告を行うとのことです。（1月20日付報告より）

なお、今回の報告は、昨年11月、埼玉県などに法的見解を求め対応を図っていくとの報告を行っていたことを受けてのもです。

### = 国民健康保険税の改正 =

『国民健康保険ヘルスプラン』に基づき保険税率を改定するものです。

○平等割額9,000円(1世帯での負担)を削除し、後期高齢者支援金と介護納付金の均等割額(加入者数分の負担)をそれぞれ3,000円引き上げるものです。ほかに、所得割11.4%の負担があります。

○なお、前年中の世帯内の総所得金額等が一定基準以下の場合、均等割額と平等割額が軽減制度があります。

※被保険者一人当たりの医療費は増加傾向にあり、生活習慣病などの予防が大切と考えます。

# = 定例会での一般質問から =

## GIGAスクールの端末更新の方針は◇

**質問** : 文部科学省で示した「学習者用コンピューター端末のガイドライン」を基に選定の検討をしているのか伺います。

**教育長** : 確認をしており、それに基づく違いを検討しているところです。

**質問** : 現在使用しているOSと違うOS端末を希望している子どもがいるとの話を聞か、要望の把握や対応について伺います。

**教育長** : 現場の声や世間の動向、予算等を踏まえ、子どもたちの未来を展望して検討することが重要と考えています。

**質問** : 国としては、県で基金を設置し広域で極力価格を抑えて調達という方向が示されている。教育委員会としての考えを伺います。

**教育長** : 国が学習用端末の経費を補助する予定と認めています。更新時期や機器選定、財源等について予算が高額になることから市長部局と十分に連携しながら検討を進めていきます。

※実施計画では、令和8年度が学習用端末の入替予定。ICT教育の着実な進展につながることを期待します。

## 災害図上訓練「DIG」の活用を◇

**質問** : 道路の通行ができないなど実際の災害を想定した避難訓練を行った記憶がある。防災訓練や防災フェアなど機会を捉えての紹介、啓発を行っていたらと伺います。

**危機管理監** : 避難所運営ゲーム「HUG」や災害図上訓練「DIG」は、その有用性から和光市防災まちづくり伝道師養成講座のカリキュラムに取り入れています。講座以外の場で活用できるか検討していきます。

※災害図上訓練「DIG」は、地図を用いて地域の防災対策を話し合う訓練。参加者は地図上に避難経路や危険箇所、避難所などの書き込み、災害時に想定されるリスクや課題を共有しつつ、対応策を検討、確認していく。



## すがわら満のプロフィール

◆和光市議会 予算決算常任委員会委員長・文教厚生常任委員会委員・議会運営委員会委員  
◇和光市都市計画審議会委員 / ◇(公益財団法人)富士社会教育センター客員研究員

☆☆☆不審な電話には出ない・電話録音をする!・フィッシングメールなどに注意をしましょう!!☆☆☆



花粉に注意!

## 難病患者や家族への支援の現状は◇

**質問** : 和光市での指定難病の推移を伺います。

**福祉部長** : 埼玉県所管であり県に確認し、令和5年度末時点では、指定難病565名、特定疾患1名、県単指定難病0名であり、令和4年度末時点との比較では、指定難病が44名の増加となっています。

**質問** : 障害者総合支援法や介護保険法のサービス給付の情報提供では各所管での連携が大切だが、対応は図れているのか伺います。

**福祉部長** : サービス給付の併用の場合は、介護のケアマネージャーと障害福祉の相談支援員との連携により、ご家族にとって必要なサービス提供となるよう調整の上、介護サービスで賄いきれない部分については障害福祉サービスで補完して提供するなど各所管で連携をして支援を行ってまいります。

※「難病に関する法律」に基づく指定難病は、施行時に110、令和6年4月1日現在341となっています。

## 物価高騰と予算編成への対応は◇

**質問** : 令和6年度の入札の状況について伺います。

**企画部長** : 令和6年度上半期での不調件数は5件、不落件数は9件、不落随意契約は4件となっており、不落件数が4件増えています。

**質問** : 和光市は地方交付税の不交付団体であり、国の施策で財源を交付税算入という扱いとなる場合がある。物価上昇が想定される中で、今後どのように取り組んでいくのか伺います。

**企画部長** : 普通交付税は、令和6年度における財源超過額が14億円を超えており、新規事業で歳出事業費が増加しても、普通交付税による財源補てんはむずかしい状況にあると認識しています。令和7年度以降の物価上昇、労働力不足などによる歳出事業費の増加が見込まれますので、主要な歳入である市税収入の推移にも注視しながら、計画的かつ効率的な財政運営を行ってまいりたいと考えています。